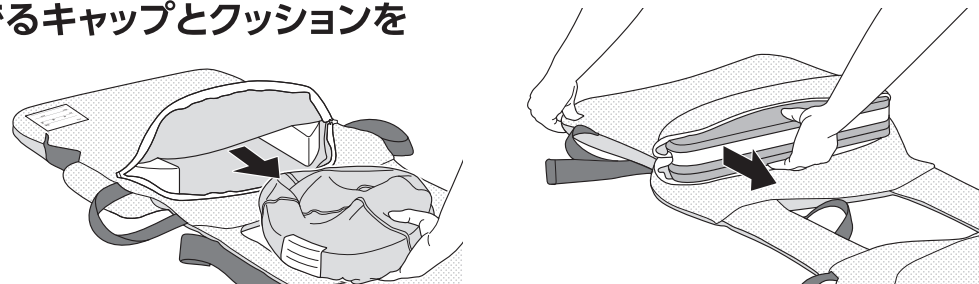


## お手入れ

本体カバーとでるキャップのカバーのみ水洗いすることができます。

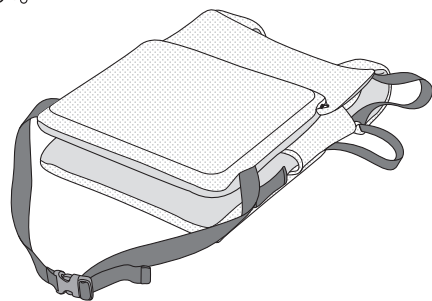
### 1 ファスナーを開け、でるキャップとクッションを取り出します。



### 2 それぞれ以下のようにお手入れします。

#### 本体カバー

洗濯表示の指示に従って洗濯します。カバーを洗濯する際は、洗濯表示の注意事項を必ずお守りください。

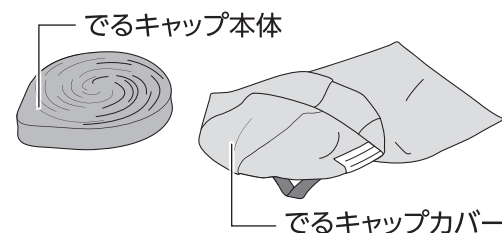


#### ● 本体カバー、でるキャップカバーの洗濯表示

	手洗いできます。液温は 40℃を限度としてください。
	酸素系漂白剤は使用できますが、塩素系漂白剤は使用できません。
	タンブル乾燥はできません。
	アイロン掛けはできません。
	ドライクリーニングはできません。
	ウェットクリーニングはできません。

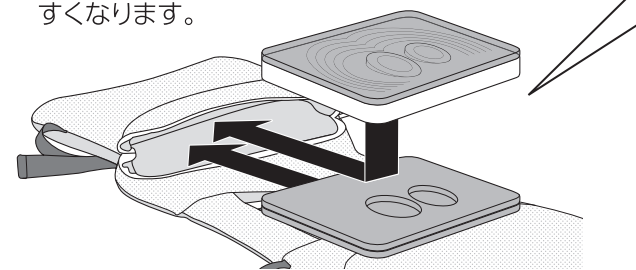
#### でるキャップ

- でるキャップのカバーは外し、洗濯表示の指示に従って洗濯します。
- でるキャップ本体が汚れた場合は、乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ります。しつこい汚れの場合は、柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってから拭き取ってください。拭き取った後は、十分に乾燥させてください。

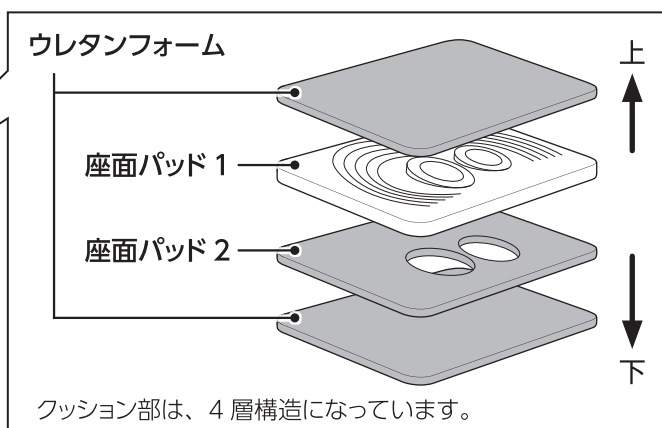


#### クッション

- 乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ります。しつこい汚れの場合は、柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってから拭き取ってください。拭き取った後は、十分に乾燥させてください。
- お手入れした後は、以下の順番、および向きで本体に戻してください。以下の図のように 2 つに分けて入れると入れやすくなります。



穴があいている方を手前側にして収納します（図はわかりやすいようにウレタンフォームを透明にしています）。



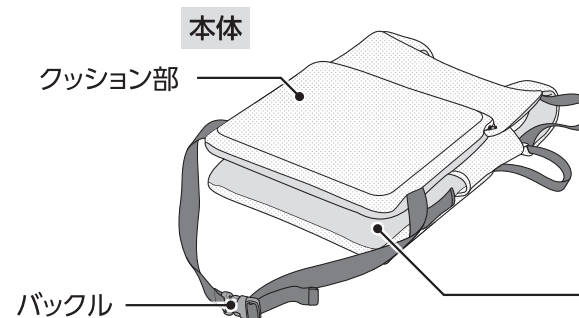
クッション部は、4層構造になっています。

## 学校いす用クッション機能付き、災害用ライフジャケット

# DERUCAP for school

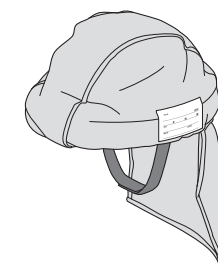
## 取扱説明書

### セット内容



#### でるキャップ

地震のときにかぶり、頭を保護します。



### 仕様

	本体（身体装着時）	本体（イス装着時）	でるキャップ
型番	DCFS-01		
サイズ(約)	肩幅 32cm × 身幅 33cm × 着丈 43cm	幅 33cm × 奥行 35cm × 高さ 38cm	長さ 26cm × 幅 23cm × 高さ 4cm
質量	約 650 g		約 120 g
材質	表地：PES 生地 裏地：PES 生地 ベルト：PP 樹脂 バックル：合成樹脂 中身：PES 樹脂、PU 樹脂		本体：PE 樹脂 カバー：PES 生地 あごひも：PES 生地
原産国	日本		

● 商品の仕様は改善などのため、予告なしに変更することがあります。

● でるキャップは株式会社タイカの登録商標です。

### 安全上の注意

**警告** 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷<sup>\*1</sup>を負うことが想定される危害の程度を示しています。

**注意** 取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷<sup>\*2</sup>を負うか、または物的損害<sup>\*3</sup>の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

- ライフジャケットとして使用する際の適用体重は 40kg 以下です。
- ライフジャケットを使用する前に、バックル・ベルト部が破損していないか確認してください。身体から外れる恐れがあります。
- キャップを使用する際の適応サイズは、頭の外周 50cm から 54cm です。
- キャップは、産業用保護帽ではありません。法律（労働安全衛生法）で定める作業では使用しないでください。
- キャップは、乗車用ヘルメットではありません。原動機付自転車を含むオートバイ及び自転車に乗車する際に使用しないでください。
- 本製品の分解、加工等はしないでください。本来の性能を発揮できません。
- 火または高温の熱源に近づけないでください。燃焼の危険があります。
- 一度でも大きな衝撃が加わったり、高温にさらされた場合には、外観の異常が無くても使用せず廃棄してください。
- 通常の使用時に本体の上に勢いをつけて飛び乗らないでください。転倒してけがをする恐れがあります。

※ 1 重傷とは失明、ケガ、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをいう。  
 ※ 2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないケガ、やけど、感電などをいう。  
 ※ 3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指す。

- キャップのあごひもは必ず正しく装着してください。強風時に脱げてしまう可能性があります。
- 暖房機の近くなどの高温（50℃以上）になる場所や、直射日光が当たる場所に長時間放置しないでください。変形・破損・物性低下などにより、機能を損なう可能性があります。
- 低温のもの（ドライアイス等）に近づけないでください。変質の原因になります。
- 使用中に皮膚のかぶれ・かゆみ等が生じたら直ちに使用を中止し、医師の診断を受けてください。
- 定期的（6～12ヶ月）に、変形、破損、表面の脆化、ヒビ割れ等の異常が生じていないか確認し、異常がある場合は使用せずに廃棄してください。
- 使用後は都度、変形、破損、表面の脆化、ヒビ割れ等の異常が生じていないか確認し、異常がある場合は使用せずに廃棄してください。
- 市販のアルコールや除菌消臭剤を使用しないでください。劣化を促進する恐れがあります。
- 本体丸ごと（キャップとクッションを外さない状態）の洗濯はしないでください。

### 保管方法

- 高温・多湿を避けた暗所で荷重が掛からない状態で保管してください。変形・破損・物性低下などにより、機能を損なう可能性があります。

株式会社タイカ ウェルネス事業本部

〒125-0054 東京都葛飾区高砂 5-39-4

Tel : 03-5648-6630 Fax : 03-5648-6640

フリーダイヤル

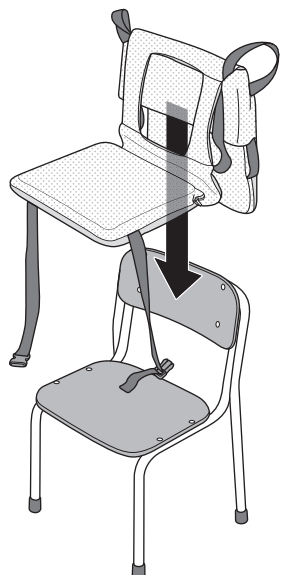
0120-152-047

# 通常時

通常時はイスに取り付けてクッションとして使用します。

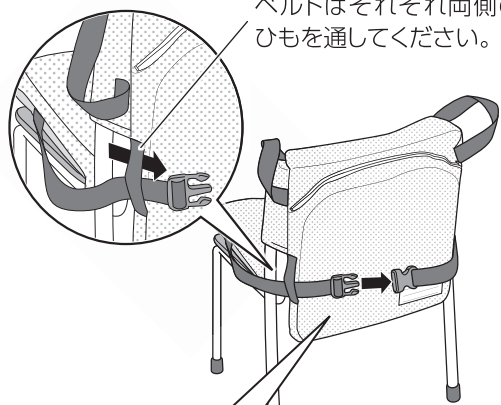
## イスへの取り付け方

- 1 本体を図の向きでイスの背もたれに取り付けます。



- 2 ベルトを背もたれの後ろに回し、バックルをとめます。

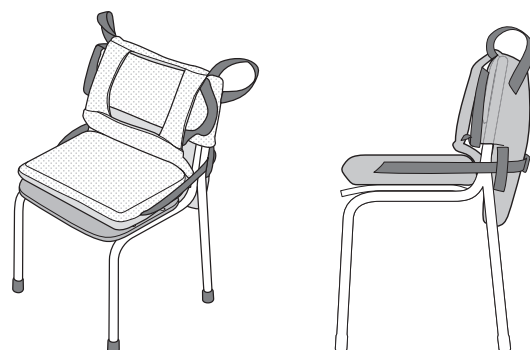
ベルトはそれぞれ両側のひもを通してください。



ベルトは長さを調整してください。

完成図

<真横から見た図>

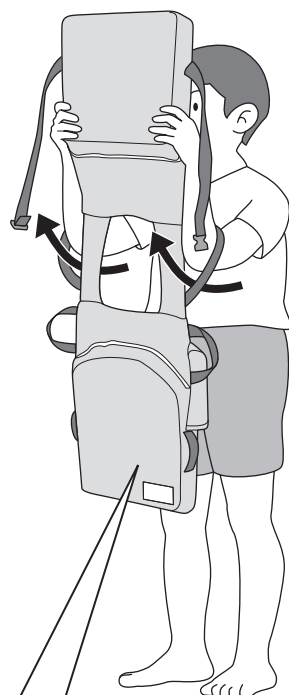


# 非常時

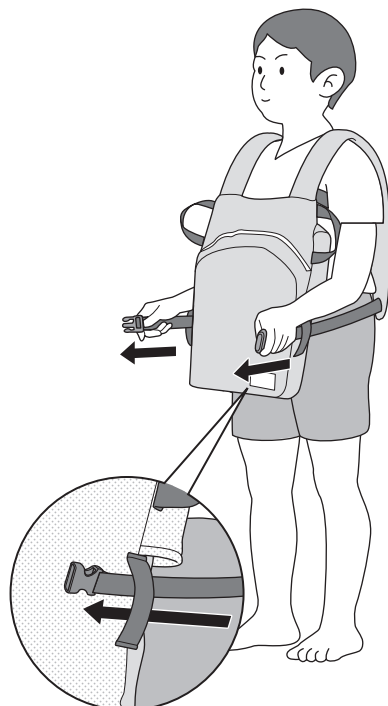
非常時は防災ずきんやライフジャケットとして使用します。

## 着用方法 着用すると、水に浮かぶことができます。

- 1 両腕をひもの中を通し、
- 2 バックルを持ち、左右のひもの中に通します。
- 3 バックルを体の前でとめます。



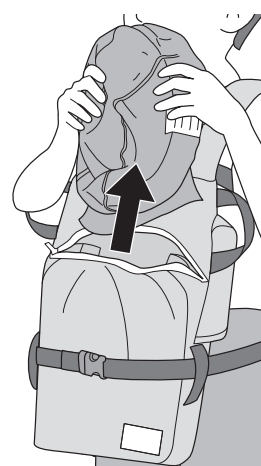
「まえ」マークを体の前にして着用します。



長さを調整し、体に固定します。

## でるキャップのかぶり方 頭部を保護します。 ● 適応サイズは、頭の外周 50cm から 54cm です。

- 1 本体からでるキャップを取り出します。
- 2 でるキャップを頭にかぶり、あごひもをしっかりとめます。



頭の形にあわせてキャップが変形します。

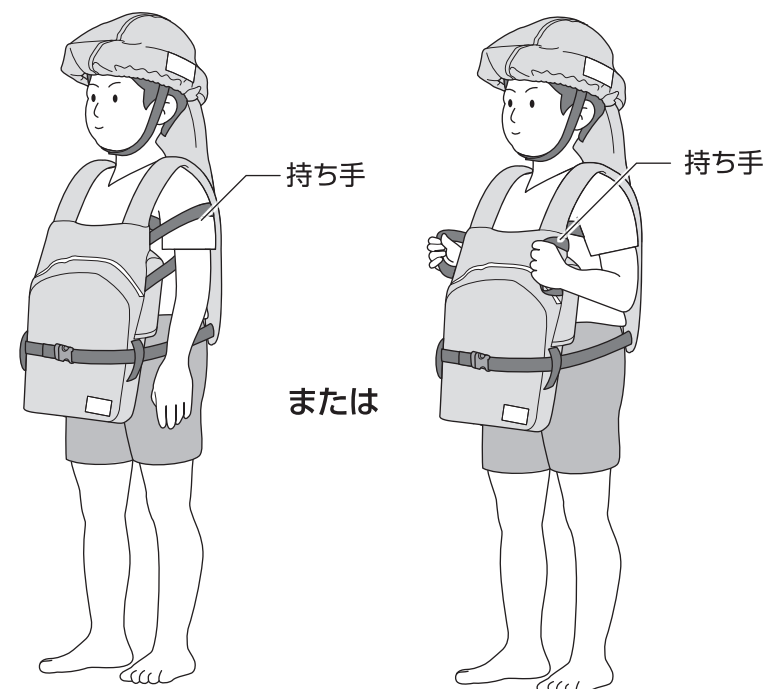


## 水に入るとき

水の中に入るときは、本体が体から離れないように持ち手を持つか、持ち手に腕を通します。

持ち手に腕を通す

持ち手を持つ



## 浮き方

適用体重：40kg 以下

